

作成日 2006年10月30日

作成者 建築設計事務所

確認日 #####

確認者 建築設計事務所

① 建物概要

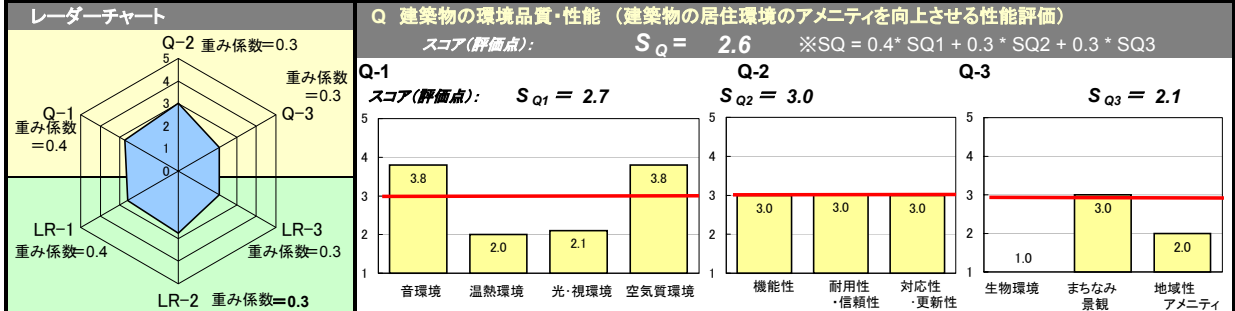
注1

建物名称	(仮称)大塚北溝町マンション			外観パース等
建物用途	集合住宅			
建設地・気候区分	京都府京都市山科区大塚北溝町		地域区分Ⅳ	
地域・地区	第二種中高層住居専用地域、防火指定なし			
竣工年	2006年3月 予定	階数	地上5F	
敷地面積	2,309 m ²	構造	RC造	図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建築面積	1,259 m ²	平均居住人員	276 人	
延床面積	4,809 m ²	年間使用時間	8,760 時間/年	

② 建築物の総合的な環境性能評価結果

注1、2

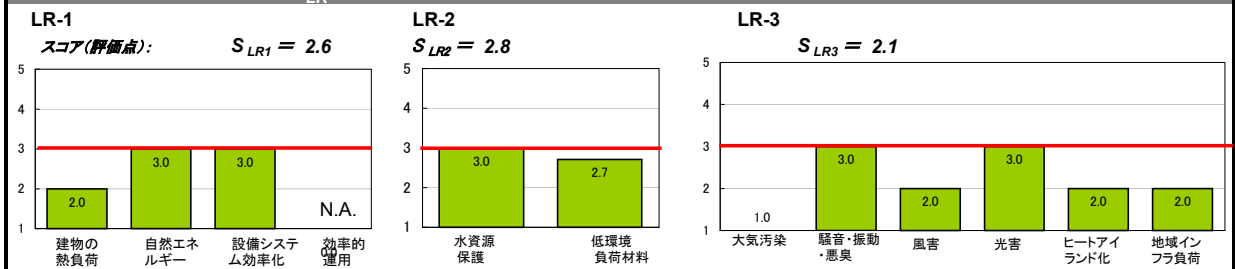
②-1 建築物の環境品質・性能と環境負荷低減性(評価分野毎)



LR 建築物の環境負荷低減性 (建築物の環境負荷を低減させる性能評価)

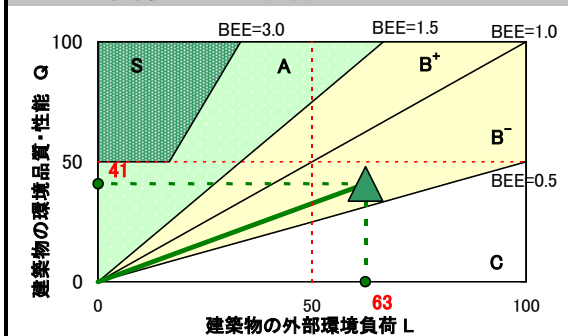
スコア(評価点): $S_{LR} = 2.5$

※ $SLR = 0.4 * SLR1 + 0.3 * SLR2 + 0.3 * SLR3$



②-2 建築物の環境性能効率(BEE: Building Environmental Efficiency)

BEEによる建築物のサステナビリティランギング



$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の外部環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 * (S_Q - 1)}{25 * (5 - S_{LR})} = \frac{41}{63} = 0.7$$

Q = 25 * (S_Q - 1) *S_Q: Score of Q category
SQ = 0.4 * SQ1 + 0.3 * SQ2 + 0.3 * SQ3
L = 25 * (5 - S_{LR}) *S_{LR}: Score of LR category
SLR = 0.4 * SLR1 + 0.3 * SLR2 + 0.3 * SLR3

③ 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

③-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	10	20	30	40	50%
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²						
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²						
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²						
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²						
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²						
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²						

③-2 デザインプロセスの評価

配慮項目		備考
設計段階		
1 有資格者による設計		注1: 評価結果の表示は①～②まで 注2: 敷地選定に関わる評価は対象外。当該敷地に建てられる標準的な建築物の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。
建設段階		
1 環境管理計画		注3: ③の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。